

小田原市
介護予防把握事業
調査結果報告書

令和5年2月

小田原市

目 次

第1章 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査対象	1
3 調査期間	1
4 調査方法	1
5 調査結果の表示方法	1
6 調査の回収数・回収率	2
7 判定の条件	3
8 用語の定義	5
第2章 調査結果等からみた本市の高齢者像	6
1 調査結果の分析について	6
2 高齢者人口・調査対象者の状況	7
3 回答者の属性	9
4 一般高齢者・リスク該当者の状況	12
(1) 一般高齢者とリスク該当者	12
(2) リスク該当者と7種類リスクの出現率	16
5 調査結果の総括	22
(1) 調査結果の総括の視点	22
(2) リスク該当者の総括	22
(3) フレイル予防における栄養リスクの総括	23
(4) フレイル予防における身体活動（運動）の総括	23
(5) フレイル予防における社会参加の総括	23
6 基本チェックリスト（25項目）の回答結果	24

第3章	日常生活圏域ごとの分析結果	40
1	日常生活圏域ごとのリスク別出現率	40
2	日常生活圏域ごとの課題	45
	(1) 第1圏域(しろやま)	45
	(2) 第2圏域(はくおう)	48
	(3) 第3圏域(じょうなん)	51
	(4) 第4圏域(はくさん)	54
	(5) 第5圏域(ひがしとみず)	57
	(6) 第6圏域(とみず)	60
	(7) 第7圏域(さくらい)	63
	(8) 第8圏域(さかわ こやわた・ふじみ)	66
	(9) 第9圏域(しもふなか)	69
	(10) 第10圏域(とよかわ・かみふなか)	72
	(11) 第11圏域(そが・しもそが・こうづ)	75
	(12) 第12圏域(たちばな)	78
第4章	独自設問の分析結果	81
1	あなたのご家族や生活状況について	81
2	運動・閉じこもりについて	86
3	転倒について	88
4	物忘れについて	91
5	毎日の生活について	94
6	地域での活動について	112
7	健康について	127
8	小田原市で実践していることについて	129
第5章	前回の調査結果との比較	135
1	総括	135
2	日常生活圏域ごとの比較	138
	(1) 第1圏域(しろやま)	140
	(2) 第2圏域(はくおう)	142
	(3) 第3圏域(じょうなん)	144
	(4) 第4圏域(はくさん)	146
	(5) 第5圏域(ひがしとみず)	148
	(6) 第6圏域(とみず)	150
	(7) 第7圏域(さくらい)	152
	(8) 第8圏域(さかわ こやわた・ふじみ)	154
	(9) 第9圏域(しもふなか)	156
	(10) 第10圏域(とよかわ・かみふなか)	158

(11) 第11 圏域 (そが・しもそが・こうづ)	160
(12) 第12 圏域 (たちばな)	162

資料編..... 164

1 アンケート調査票	164
2 個人アドバイス票	172

第1章 調査の概要

1 調査の目的

本事業は、介護予防・日常生活支援総合事業を推進するため、本市の要支援・要介護認定者を除く70歳及び昨年度の調査で未回答の71～74歳の方を対象に、「個別の生活実態」を調査しました。その調査結果から現状の「日常生活圏域別の高齢者の生活実態」及び「市全体における高齢者の生活実態」の把握及び課題、地域特性の抽出を行い、今後の一般介護予防事業等の展開について検討、評価していくとともに、抽出された地域課題、地域特性を明確化することで、地域包括ケアシステムの構築を推進していく上での基礎資料とすることを目的としています。

調査結果については電子データ化し、日常生活圏域における地域活動の基礎資料とするほか、生活機能が低下傾向にある高齢者について、個別の課題に応じた適切な支援・サービスに繋げるために活用します。

2 調査対象

市内在住で令和4年度中に70歳に到達する者（昭和27年4月2日～昭和28年4月1日生）
市内在住で令和3年度の調査票が未回収であり令和4年度中に71歳から74歳に到達する者（昭和23年4月2日～昭和27年4月1日生）
以上、3,798名

3 調査期間

令和4年8月30日～令和4年9月16日

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・第3章及び第4章で調査結果を図表にて掲載していますが、グラフ以外の表は、第3章では市全体に比べ、同じ又は高い圏域の箇所を■で、第4章では最も高い割合のものを■で、2番目に高いものを■で、3番目に高いものを■で網かけをしています。
（無回答を除く）
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。

6 調査の回収数・回収率

調査の回収数・回収率は、以下のとおりです。有効回収数は、1,656件、有効回収率は、43.6%となっています。

70歳の有効回収率は、59.7%で、71～74歳の有効回収率は、14.5%となっています。

日常生活圏域別にみると、「第8圏域(さかわ こやわた・ふじみ)」が47.0%、「第7圏域(さくらい)」が45.6%と高くなっています。

日常生活圏域	全体			70歳			71～74歳		
	配布数	有効回収数	有効回収率	配布数	有効回収数	有効回収率	配布数	有効回収数	有効回収率
市全体	3,798	1,656	43.6%	2,446	1,460	59.7%	1,352	196	14.5%
第1圏域(しろやま)	370	163	44.1%	236	150	63.6%	134	13	9.7%
第2圏域(はくおう)	341	149	43.7%	210	122	58.1%	131	27	20.6%
第3圏域(じょうなん)	293	129	44.0%	181	113	62.4%	112	16	14.3%
第4圏域(はくさん)	326	127	39.0%	212	114	53.8%	114	13	11.4%
第5圏域(ひがしとみず)	226	95	42.0%	138	82	59.4%	88	13	14.8%
第6圏域(とみず)	282	116	41.1%	192	105	54.7%	90	11	12.2%
第7圏域(さくらい)	217	99	45.6%	145	90	62.1%	72	9	12.5%
第8圏域(さかわ こやわた・ふじみ)	406	191	47.0%	280	169	60.4%	126	22	17.5%
第9圏域(しもふなか)	287	125	43.6%	181	109	60.2%	106	16	15.1%
第10圏域(とよかわ・ かみふなか)	416	189	45.4%	272	172	63.2%	144	17	11.8%
第11圏域(そが・ しもそが・こうづ)	353	147	41.6%	219	127	58.0%	134	20	14.9%
第12圏域(たちばな)	281	126	44.8%	180	107	59.4%	101	19	18.8%

日常生活圏域	地域包括支援センター名	自治会連合会名
第1圏域	しろやま	緑、万年、幸、芦子
第2圏域	はくおう	新玉、山王網一色、足柄
第3圏域	じょうなん	十字、片浦、早川、大窪
第4圏域	はくさん	二川、久野
第5圏域	ひがしとみず	東富水
第6圏域	とみず	富水
第7圏域	さくらい	桜井
第8圏域	さかわ こやわた・ふじみ	酒匂・小八幡、富士見
第9圏域	しもふなか	下府中
第10圏域	とよかわ・かみふなか	豊川、上府中
第11圏域	そが・しもそが・こうづ	曾我、下曾我、国府津
第12圏域	たちばな	前羽、橘北

7 判定の条件

基本チェックリスト（25項目）の回答結果について、リスク判定を行いました。

■判定の設定条件

項目	リスク判定	判定条件
暮らしリスク	注意	10点以上
	普通	3点～9点
	良好	0～2点
	判定不可	判定設問に未回答が10問以上ある
運動リスク	注意	3点以上
	普通	1点～2点
	良好	0点
	判定不可	判定設問に未回答が3問以上ある
栄養リスク	注意	2点以上
	普通	1点
	良好	0点
	判定不可	判定設問に未回答が1問以上ある・4-2が未回答
口腔リスク	注意	2点以上
	普通	1点
	良好	0点
	判定不可	判定設問に未回答が2問以上ある
外出リスク	注意	2-4が該当
	普通	2-6が該当。2-4は非該当
	良好	2-4・2-6非該当
	判定不可	2-4が未回答
もの忘れリスク	注意	1点以上
	良好	0点
	判定不可	判定設問に未回答が1問以上ある
こころリスク	注意	2点以上
	普通	1点
	良好	0点
	判定不可	判定設問に未回答が2問以上ある

■暮らしリスク

問番号	設問内容	点数	回答
6-1	バスや電車で1人で外出していますか	1	できない
6-2	日用品の買物をしていますか	1	できない
6-5	預貯金の出し入れをしていますか	1	できない
6-11	友人の家を訪ねていますか	1	いいえ
6-12	家族や友人の相談にのっていますか	1	いいえ
2-1	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1	できない
2-2	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1	できない
2-3	15分位続けて歩いていますか	1	できない
3-1	この1年間に転んだことがありますか	1	何度もある
3-2	転倒に対する不安は大きいですか	1	とても不安である
4-1	6カ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1	はい
4-2	身長、体重(数字を記入) 身長、体重から算出したBMIが18.5未満 ※ BMI = 体重(kg) / (身長(m) × 身長(m))	1	はい
4-3	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1	はい
4-4	お茶や汁物等でむせることがありますか	1	はい
4-5	口の渇きが気になりますか	1	はい
2-4	週に1回以上は外出していますか	1	ほとんど外出しない
2-6	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1	とても減っている減っている
5-1	周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるとされますか	1	はい
5-2	自分で電話番号を調べて電話をかけることをしていますか	1	いいえ
5-3	今日が何月何日かわからない時がありますか	1	はい

■運動リスク

問番号	設問内容	点数	回答
2-1	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1	できない
2-2	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1	できない
2-3	15分位続けて歩いていますか	1	できない
3-1	この1年間に転んだことがありますか	1	何度もある
3-2	転倒に対する不安は大きいですか	1	とても不安である

■栄養リスク

問番号	設問内容	点数	回答
4-1	6カ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1	はい
4-2	身長・体重(数字を記入) 身長、体重から算出したBMIが18.5未満 ※ BMI = 体重(kg)/(身長(m)×身長(m))	1	はい

■口腔リスク

問番号	設問内容	点数	回答
4-3	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1	はい
4-4	お茶や汁物等でむせることがありますか	1	はい
4-5	口の渴きが気になりますか	1	はい

■外出リスク

問番号	設問内容	点数	回答
2-4	週に1回以上は外出していますか	1	ほとんど外出しない
2-6	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1	とても減っている減っている

■物忘れリスク

問番号	設問内容	点数	回答
5-1	周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあると言われますか	1	はい
5-2	自分で電話番号を調べて電話をかけることをしていますか	1	いいえ
5-3	今日が何月何日かわからない時がありますか	1	はい

■こころリスク

問番号	設問内容	点数	回答
8-1	(ここ2週間)毎日の生活に充実感がない	1	はい
8-2	(ここ2週間)これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	1	はい
8-3	(ここ2週間)以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じる	1	はい
8-4	(ここ2週間)自分が役に立つ人間だと思えない	1	はい
8-5	(ここ2週間)わけもなく疲れたような感じがする	1	はい

8 用語の定義

報告書に用いられる用語は、以下のとおりです。

用語	解説
一般高齢者	日々の生活において元気に暮らしている方。
リスク	この報告書においては「危険性」を意味し、実際にそれが起こって危険となる可能性を表した言葉です。例えば「暮らしリスク」は、高齢者が生活機能低下に陥る危険性のことを指しています。
リスク別出現率	調査の有効回収数(回答数)のうち、各リスク該当者の占める割合を表しています。 リスク別出現率＝リスク該当者数÷有効回収数
基本チェックリストリスク該当者	本調査における調査票内の基本チェックリスト該当項目において、「暮らし」「運動」「栄養」「口腔」「外出」「物忘れ」「こころ」の7項目別の判定条件によって「注意」と判定されたもので、1項目以上に該当した方。 ※以下、基本チェックリストリスク該当者を「リスク該当者」と表記します。
リスク該当者出現率	調査の有効回収数(回答数)のうち、リスク該当者の割合を表しています。 リスク該当者出現率＝リスク該当者数÷有効回収数 ※回答者の中に未回答項目がある場合、各リスク該当者数の合計が回答者数の合計を下回ることがあります。

第2章 調査結果等からみた本市の高齢者像

1 調査結果の分析について

調査結果の分析にあたっては、以下の分析を行い本市の介護予防事業のあり方や事業効果等について検証しました。なお、本調査結果は、要介護認定を受けていない70歳と昨年度調査において未回答であった71～74歳（令和4年4月1日時点）の高齢者像となります。

■分析1 一般高齢者とリスク該当者の割合

市全域と日常生活圏域別に高齢者像を把握するために、一般高齢者、リスク該当者の構成割合を分析しました。

■分析2 リスク該当者の出現率

リスク該当者の出現率を把握するために、リスク該当者をリスク別、年齢階級別、家族構成別、BMI別に分析しました。

■分析3 基本チェックリストの回答結果

基本チェックリスト（25設問）の設問において、リスク側に回答した方の回答結果を分析しました。

■分析4 7種類のリスクの他リスクとの関連

7種類のリスク該当者ごとに他の6リスク該当者との重複状況を集計し、リスクの重要度の分析をしました。

2 高齢者人口・調査対象者の状況

本市全体の高齢者像をみるために、高齢者人口（令和4年12月31日現在）と調査対象者の状況を見ました。

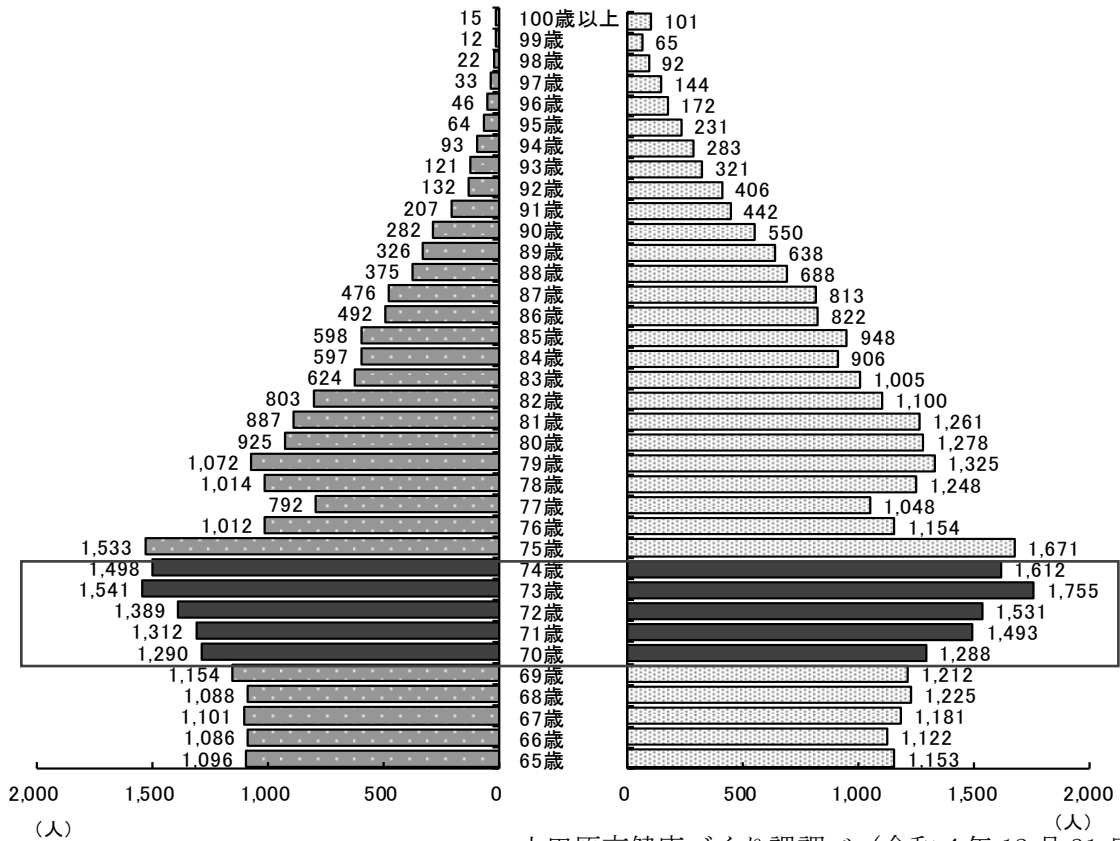
本市の高齢者人口を1歳階級別にみると、男女ともに73歳の人口が最も多くなっています。70～74歳をみると、男女ともに70歳の人口が少なくなっています。

5歳階級別の要支援・要介護認定率をみると、年齢階級が上がるほど高くなり、85～89歳で40%を超え、90歳以上では70%を超えています。

人口ピラミッド

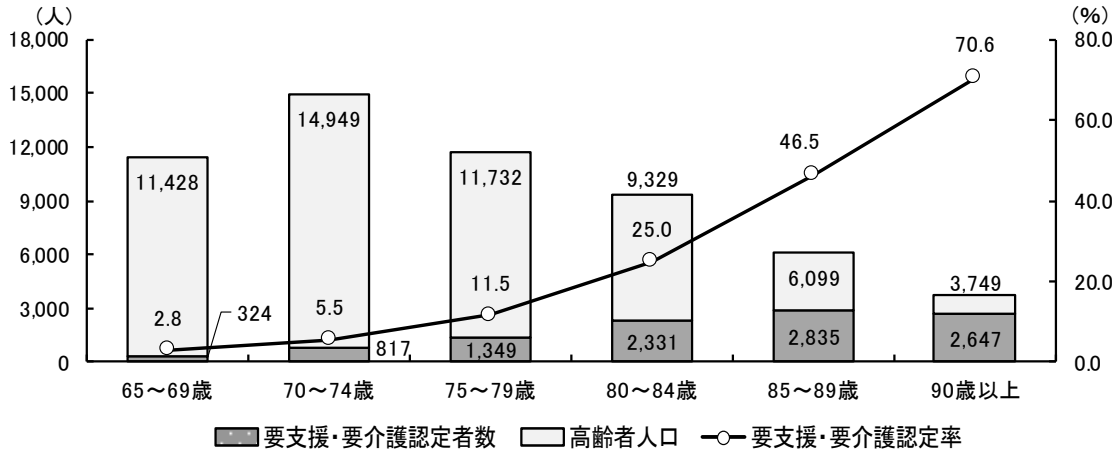
【 男性 】

【 女性 】



小田原市健康づくり課調べ（令和4年12月31日現在）

要支援・要介護認定者数の比較



小田原市高齢介護課調べ（令和4年9月末時点）

回答者の人口構成（性別・年齢階級別・日常生活圏域別）

上段：人 下段：%

日常生活圏域	70 歳			71～74 歳			合 計			平均 年齢
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
市全体	707	753	1,460	95	101	196	802	854	1,656	69.4 歳
	48.4	51.6	100.0	48.5	51.5	100.0	48.4	51.6	100.0	
第1圏域 (しろやま)	77	73	150	9	4	13	86	77	163	69.3 歳
	51.3	48.7	100.0	69.2	30.8	100.0	52.8	47.2	100.0	
第2圏域 (はくおう)	55	67	122	13	14	27	68	81	149	69.4 歳
	45.1	54.9	100.0	48.1	51.9	100.0	45.6	54.4	100.0	
第3圏域 (じょうなん)	62	51	113	9	7	16	71	58	129	69.4 歳
	54.9	45.1	100.0	56.3	43.8	100.0	55.0	45.0	100.0	
第4圏域 (はくさん)	58	56	114	5	8	13	63	64	127	69.3 歳
	50.9	49.1	100.0	38.5	61.5	100.0	49.6	50.4	100.0	
第5圏域 (ひがしとみず)	40	55	95	4	9	13	40	55	95	69.4 歳
	42.1	57.9	100.0	30.8	69.2	100.0	42.1	57.9	100.0	
第6圏域 (とみず)	42	63	105	5	6	11	47	69	116	69.3 歳
	40.0	60.0	100.0	45.5	54.5	100.0	40.5	59.5	100.0	
第7圏域 (さくらい)	42	48	90	5	4	9	47	52	99	69.3 歳
	46.7	53.3	100.0	55.6	44.4	100.0	47.5	52.5	100.0	
第8圏域 (さかわ・ こやわた・ふじみ)	101	90	191	10	12	22	101	90	191	69.4 歳
	52.9	47.1	100.0	45.5	54.5	100.0	52.9	47.1	100.0	
第9圏域 (しもふなか)	52	57	109	6	10	16	58	67	125	69.4 歳
	47.7	52.3	100.0	37.5	62.5	100.0	46.4	53.6	100.0	
第10圏域 (とよかわ・ かみふなか)	91	81	172	10	7	17	101	88	189	69.3 歳
	52.9	47.1	100.0	58.8	41.2	100.0	53.4	46.6	100.0	
第11圏域 (そが・しもそが ・こうづ)	58	69	127	9	11	20	67	80	147	69.4 歳
	45.7	54.3	100.0	45.0	55.0	100.0	45.6	54.4	100.0	
第12圏域 (たちばな)	43	64	107	10	9	19	53	73	126	69.4 歳
	40.2	59.8	100.0	52.6	47.4	100.0	42.1	57.9	100.0	

3 回答者の属性

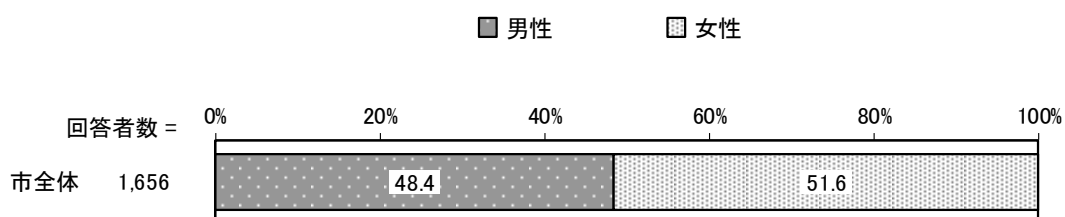
回答者数は市全体で1,656人でした。男性が48.4%、女性が51.6%となっています。

年齢階級別の回答者数は、「70歳」が88.2%（1,460人）、「71～74歳」が11.8%（196人）となっています。

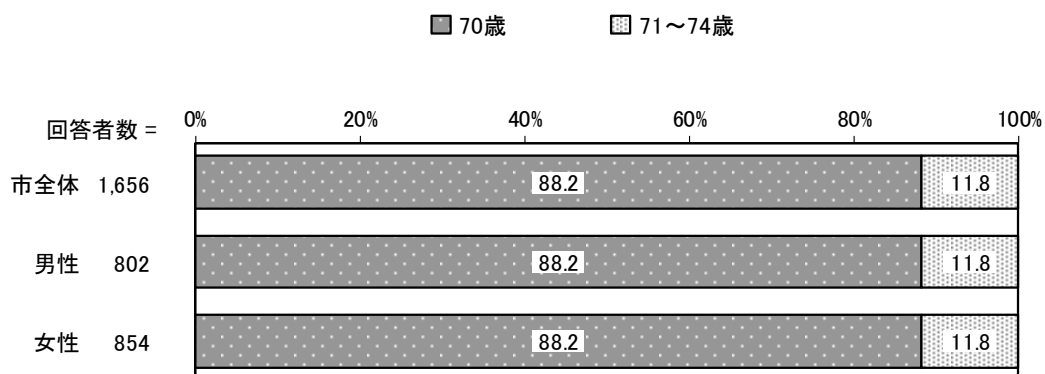
日常生活圏域別にみると、「第8圏域（さかわ こやわた・ふじみ）」が11.5%、「第10圏域（とよかわ・かみふなか）」が11.4%と高くなっています。

BMIをみると、市全体で「やせ」が7.9%、「肥満」が22.7%となっています。

回答者の性別



回答者の年齢階級（性別）

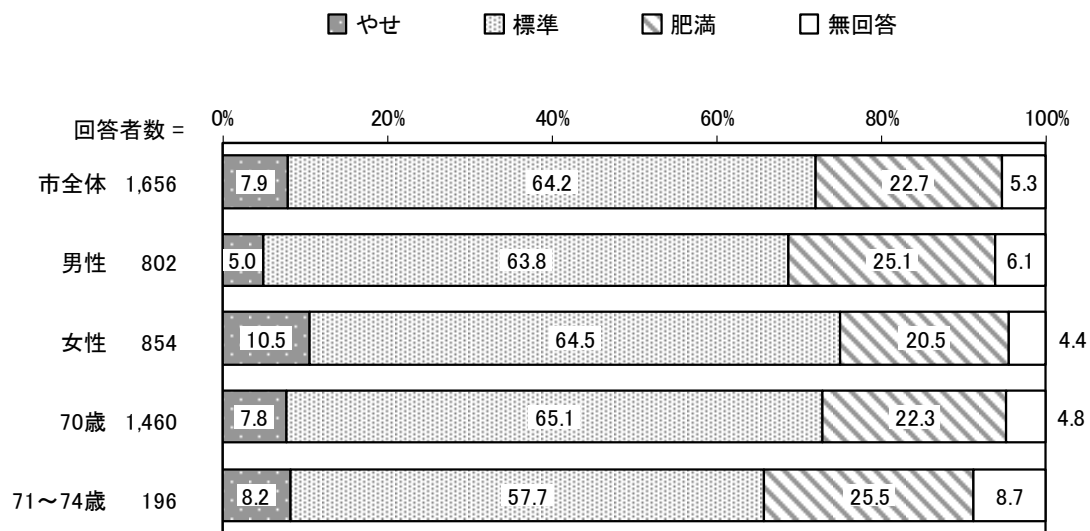


回答者の日常生活圏域

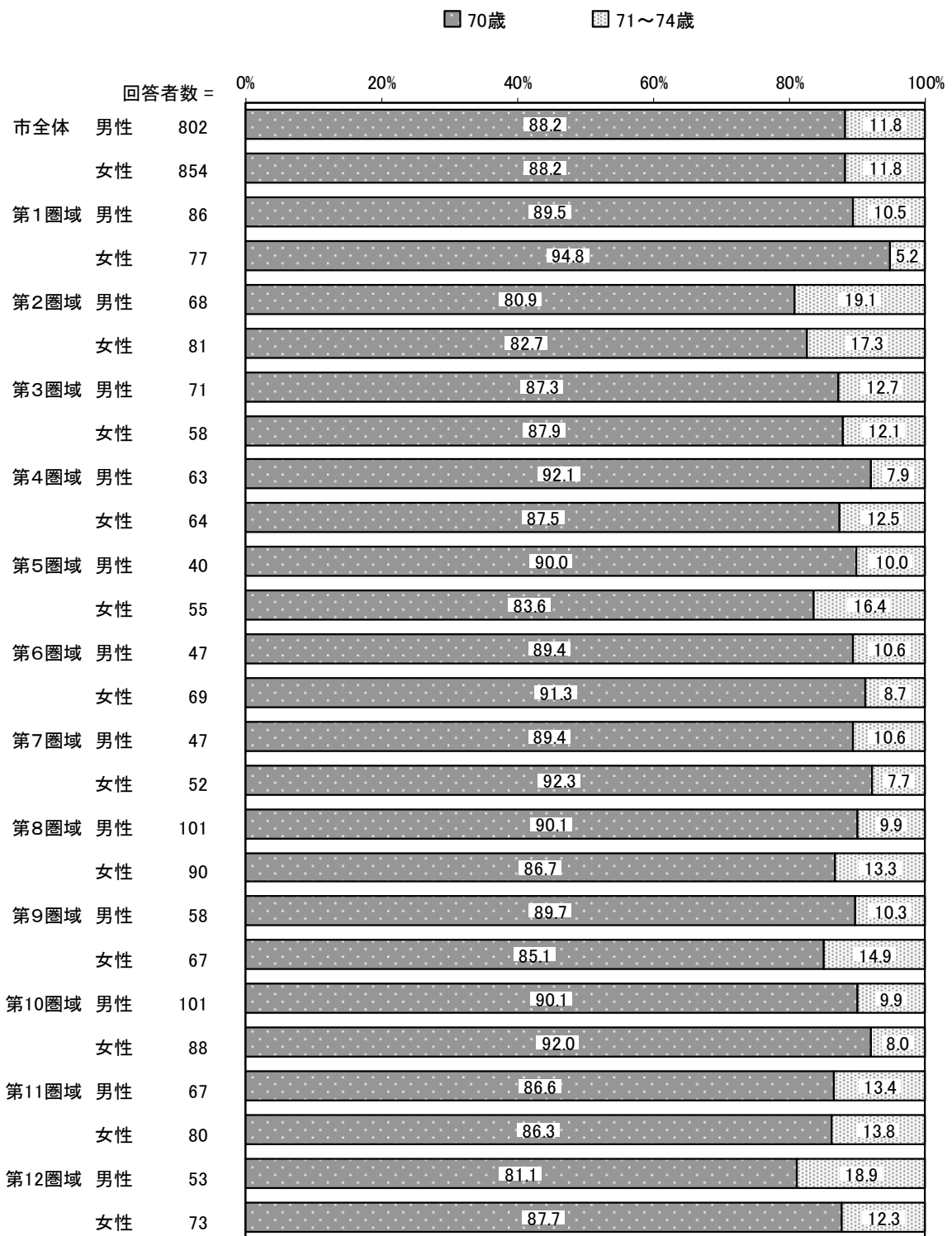
単位：％

区分	第1圏域 (しろやま)	第2圏域 (はくおう)	第3圏域 (じょうなん)	第4圏域 (はくさん)	第5圏域 (ひがしとみず)	第6圏域 (とみず)	第7圏域 (さくらい)	第8圏域 (さかわ こやわた・ふじみ)	第9圏域 (しもふなか)	第10圏域 (とよかわ・かみふなか)	第11圏域 (そが・しもそが・こうじ)	第12圏域 (たちばな)
	9.8	9.0	7.8	7.7	5.7	7.0	6.0	11.5	7.5	11.4	8.9	7.6

回答者のBMI（性別・年齢階級別）



回答者の年齢階級（性別・日常生活圏域別）



4 一般高齢者・リスク該当者の状況

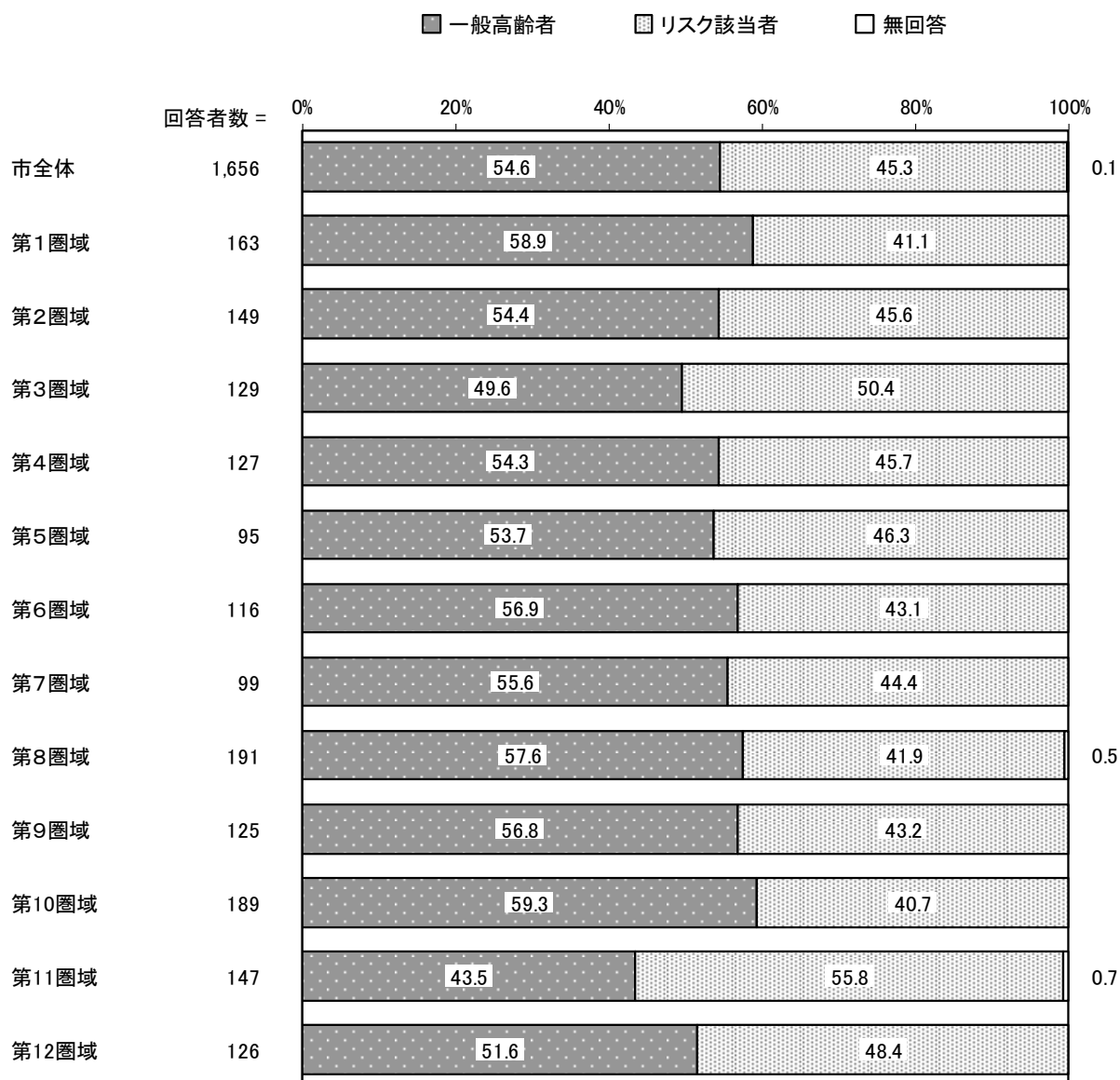
(1) 一般高齢者とリスク該当者

一般高齢者数とリスク該当者の比率は、市全体では、一般高齢者が 54.6%、リスク該当者が 45.3%となっています。

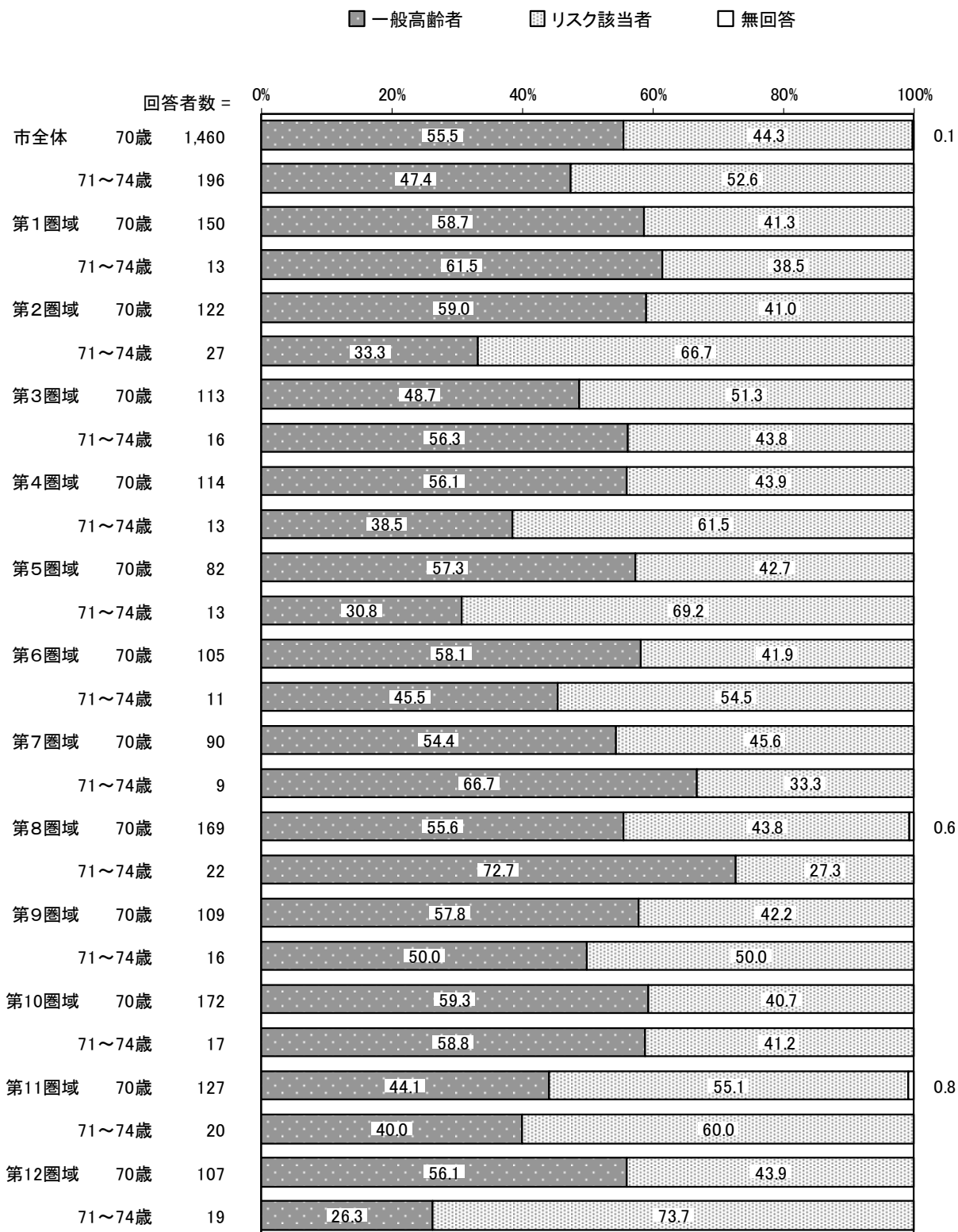
日常生活圏域別にみると、リスク該当者の比率は、「第11圏域（そが・しもそが・こうづ）」が 55.8%、「第3圏域（じょうなん）」が 50.4%と高くなっています。

年齢階級別・日常生活圏域別にみると、70歳では「第11圏域（そが・しもそが・こうづ）」（55.1%）が、71～74歳では「第12圏域（たちばな）」（73.7%）が最も高くなっています。

一般高齢者とリスク該当者の比率（日常生活圏域別）



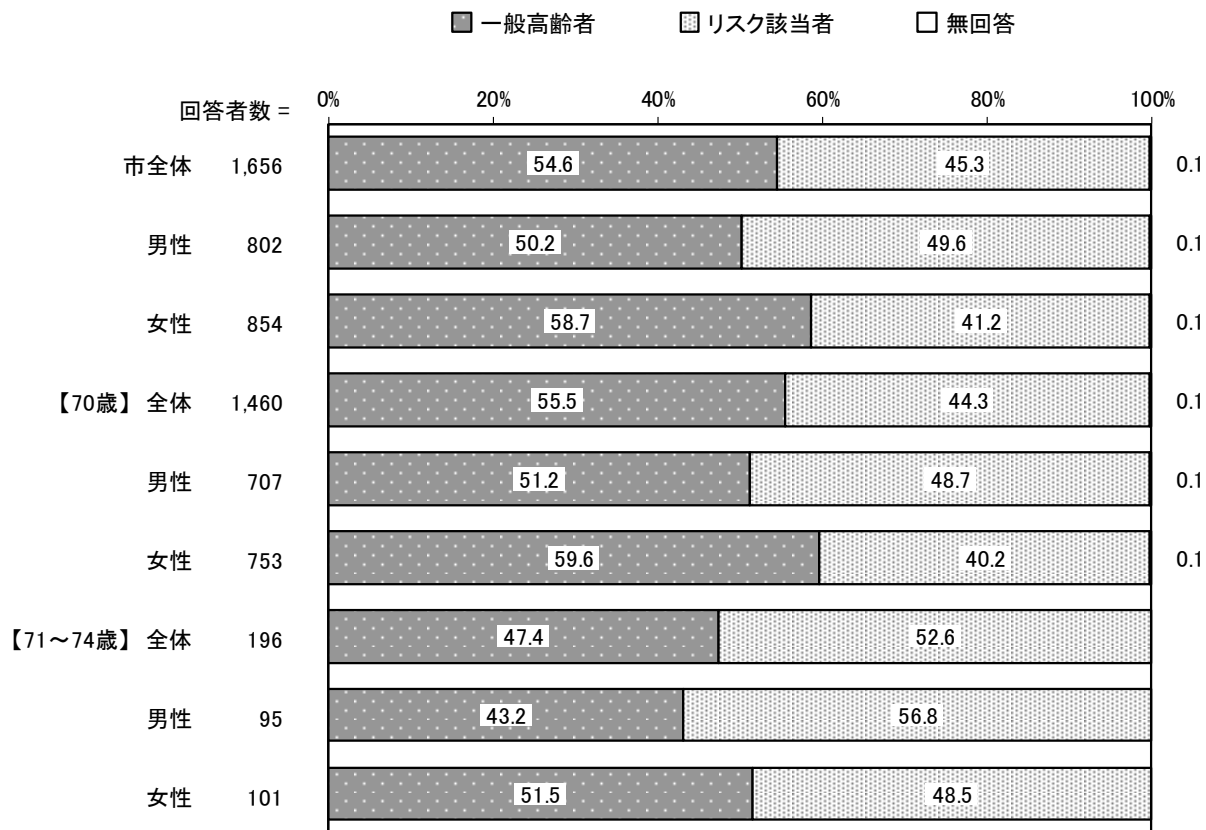
一般高齢者とリスク該当者の比率（年齢階級別・日常生活圏域別）



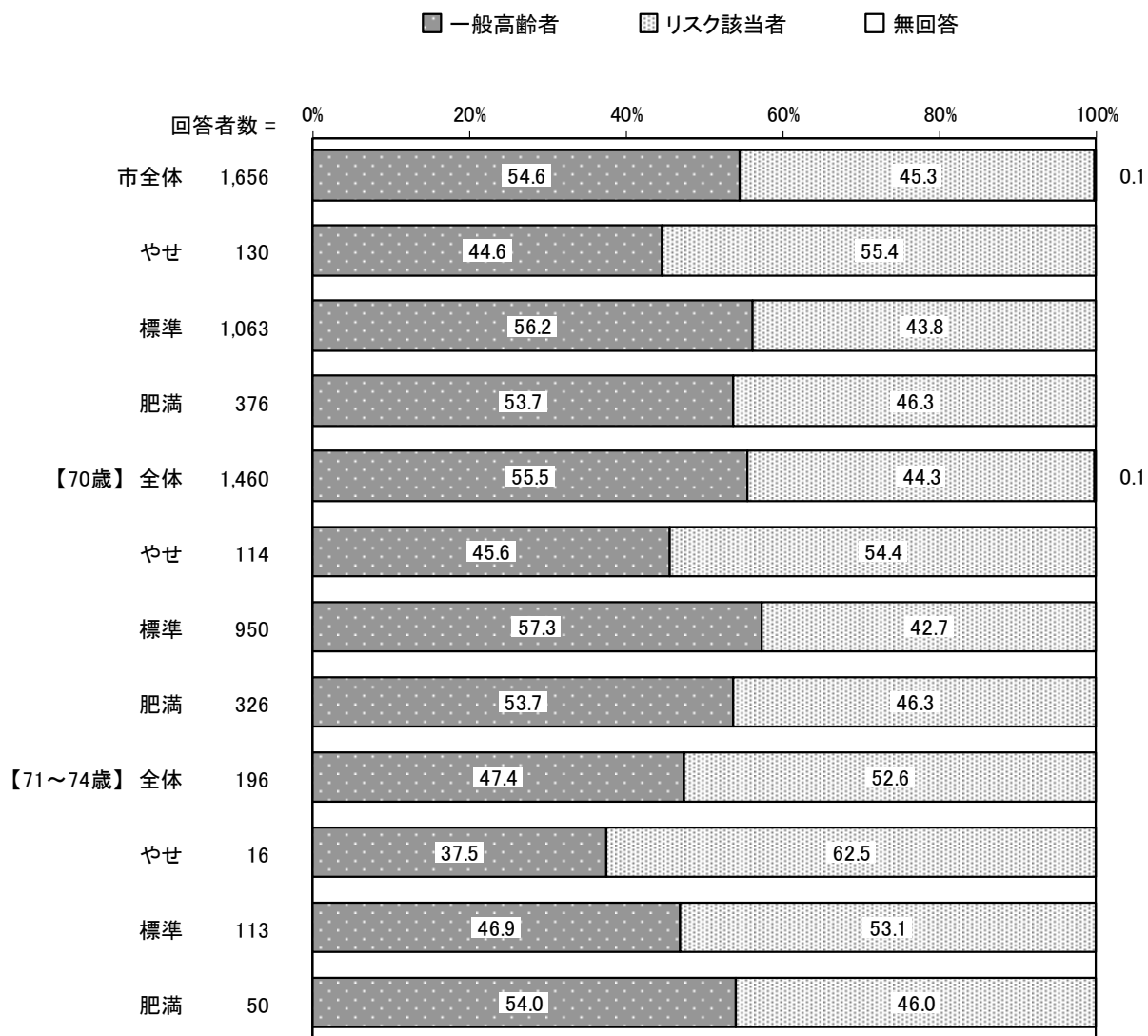
リスク該当者の比率を性別にみると、男性が 49.6%、女性が 41.2%となり、男性が女性より高くなっています。

さらにBMI別にみると、市全体、70歳、71～74歳いずれも「やせ」(55.4%・54.4%・62.5%)のリスク該当者比率が高くなっています。

一般高齢者とリスク該当者の比率（性別・年齢階級別）



一般高齢者とリスク該当者の比率（年齢階級別・BMI別）



(2) リスク該当者と7種類リスクの出現率

リスク別出現率をみると、市全体では、「物忘れリスク」が34.7%と最も高く、次いで「こころリスク」が20.1%、「口腔リスク」が14.4%となっています。

リスク別出現率を性別・年齢階級別にみると、70歳は、「物忘れリスク」の男性が39.5%、女性が28.4%と男性が11.1ポイント高くなり、71～74歳では、「物忘れリスク」の男性が46.3%、女性が37.6%と男性が8.7ポイント高くなっています。

リスク該当者、7種類のリスク別出現率（性別・年齢階級別）

単位：%

区分	回答者数 (件)	リスク 該当者	暮らし リスク	運動 リスク	栄養 リスク	口腔 リスク	外出 リスク	物忘れ リスク	こころ リスク
市全体	1,656	45.3	1.4	1.8	1.7	14.4	3.7	34.7	20.1
男性	802	49.6	1.6	1.7	1.5	13.3	4.5	40.3	19.6
女性	854	41.2	1.2	1.9	1.9	15.3	3.0	29.5	20.6
【70歳】全体	1,460	44.3	1.1	1.6	1.7	14.3	3.6	33.8	19.5
男性	707	48.7	1.1	1.4	1.6	13.6	4.1	39.5	19.1
女性	753	40.2	1.1	1.9	1.9	15.0	3.1	28.4	19.9
【71～74歳】全体	196	52.6	3.6	3.1	1.5	14.8	5.1	41.8	24.5
男性	95	56.8	5.3	4.2	1.1	11.6	7.4	46.3	23.2
女性	101	48.5	2.0	2.0	2.0	17.8	3.0	37.6	25.7

リスク該当者の出現率を家族構成別にみると、市全体では、ひとり暮らし世帯の出現率が48.6%となり、他の家族構成と比べて高くなっています。

リスク別出現率を性別・家族構成別にみると、男性では、ひとり暮らし世帯が「暮らしリスク」、「外出リスク」を除き、各リスクで他の家族構成よりやや高くなっています。女性では、ひとり暮らし世帯が「運動リスク」、「口腔リスク」、「こころリスク」で他の家族構成よりやや高いものの、その他のリスクでは大きな差はありません。

性別・年齢階級別・家族構成別にみると、70歳男性では、ひとり暮らし世帯の「栄養リスク」(3.4%)と「こころリスク」(29.2%)が、70歳女性では、その他世帯の「栄養リスク」(3.1%)と「外出リスク」(4.3%)が、また、ひとり暮らし世帯の「運動リスク」(3.3%)と「こころリスク」(23.8%)が他の世帯と比べて最も高くなっています。

また、71～74歳では、男性のその他世帯のリスク該当者の出現率が60.0%と、女性のひとり暮らし世帯のリスク該当者の出現率が57.1%と、他の世帯に比べて高くなっています。

リスク該当者、7種類のリスク別出現率（性別・家族構成別）

単位：%

区分	回答者数(件)	リスク該当者	暮らしリスク	運動リスク	栄養リスク	口腔リスク	外出リスク	物忘れリスク	こころリスク
【市全体】 ひとり暮らし世帯	257	48.6	1.6	2.7	2.3	17.5	2.7	35.4	27.2
高齢者のみ世帯	794	43.7	1.1	1.5	1.4	14.2	3.4	34.1	18.0
その他世帯	554	45.1	1.6	1.6	2.0	13.0	4.7	34.3	19.3
【男性】 ひとり暮らし世帯	107	54.2	1.9	2.8	2.8	16.8	3.7	43.0	29.0
高齢者のみ世帯	403	48.9	1.5	1.5	1.5	14.1	4.0	41.4	17.6
その他世帯	265	47.9	1.9	1.5	1.1	10.2	5.7	36.6	18.1
【女性】 ひとり暮らし世帯	150	44.7	1.3	2.7	2.0	18.0	2.0	30.0	26.0
高齢者のみ世帯	391	38.4	0.8	1.5	1.3	14.3	2.8	26.6	18.4
その他世帯	289	42.6	1.4	1.7	2.8	15.6	3.8	32.2	20.4

※「高齢者のみ世帯」は「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」＋「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」

「その他世帯」は「息子・娘との2世帯」＋「その他」

リスク該当者、7種類のリスク別出現率（性別・年齢階級別・家族構成別）

単位：%

区分	回答者数 (件)	リスク 該当者	暮らし リスク	運動 リスク	栄養 リスク	口腔 リスク	外出 リスク	物忘れ リスク	こころ リスク
【70歳:男性】 ひとり暮らし世帯	89	55.1	0.0	0.0	3.4	18.0	3.4	43.8	29.2
高齢者のみ世帯	359	47.9	1.4	1.4	1.4	14.2	3.6	40.7	17.0
その他世帯	235	46.4	1.3	1.7	1.3	11.1	5.1	35.3	17.9
【70歳:女性】 ひとり暮らし世帯	122	41.8	1.6	3.3	0.8	18.0	1.6	28.7	23.8
高齢者のみ世帯	352	38.1	0.6	1.4	1.4	13.6	2.8	25.9	18.2
その他世帯	257	42.0	1.6	1.9	3.1	16.0	4.3	31.1	20.6
【71～74歳:男性】 ひとり暮らし世帯	18	50.0	11.1	16.7	0.0	11.1	5.6	38.9	27.8
高齢者のみ世帯	44	56.8	2.3	2.3	2.3	13.6	6.8	47.7	22.7
その他世帯	30	60.0	6.7	0.0	0.0	3.3	10.0	46.7	20.0
【71～74歳:女性】 ひとり暮らし世帯	28	57.1	0.0	0.0	7.1	17.9	3.6	35.7	35.7
高齢者のみ世帯	39	41.0	2.6	2.6	0.0	20.5	2.6	33.3	20.5
その他世帯	32	46.9	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	40.6	18.8

リスク別出現率をBMI別にみると、市全体では、やせの方の「栄養リスク」が他の体格の方と比べて特に高くなっています。他にもやせの方は、「物忘れリスク」を除き、各リスクで出現率が高くなっています。

さらに年齢階級別にみると、70歳では肥満の「物忘れリスク」(37.4%)、71～74歳では標準の方の「物忘れリスク」(44.2%)の出現率が最も高くなっています。

リスク該当者、7種類のリスク別出現率（年齢階級別・BMI別）

単位：%

区分	回答者数 (件)	リスク 該当者	暮らし リスク	運動 リスク	栄養 リスク	口腔 リスク	外出 リスク	物忘れ リスク	こころ リスク
【市全体】 やせ	130	55.4	6.9	4.6	21.5	19.2	8.5	34.6	26.2
標準	1,063	43.8	0.8	1.6	0.0	14.4	3.5	34.1	18.5
肥満	376	46.3	1.1	1.1	0.0	14.1	2.4	37.2	22.1
【70歳】 やせ	114	54.4	6.1	4.4	21.9	20.2	8.8	34.2	25.4
標準	950	42.7	0.4	1.4	0.0	14.1	3.2	32.9	17.6
肥満	326	46.3	1.2	0.9	0.0	14.4	2.5	37.4	22.7
【71～74歳】 やせ	16	62.5	12.5	6.3	18.8	12.5	6.3	37.5	31.3
標準	113	53.1	4.4	3.5	0.0	16.8	6.2	44.2	26.5
肥満	50	46.0	0.0	2.0	0.0	12.0	2.0	36.0	18.0

リスク該当者の出現率を居住形態別にみると、市全体では、集合住宅が 52.9%、一戸建てが 43.7%となり、集合住宅が 9.2 ポイント高くなっています。

リスク別出現率を居住形態別にみると、全てのリスクで集合住宅が一戸建てより高くなっています。

さらに年齢階級別にみると、70 歳では集合住宅の「物忘れリスク」(39.8%)、71～74 歳でも集合住宅の「物忘れリスク」(43.1%) が最も高くなっています。また、71～74 歳の「こころリスク」は一戸建てが 19.2%、集合住宅が 39.2%と差が最も大きくなっています。

リスク該当者、7 種類のリスク別出現率（年齢階級別・居住形態別）

単位：%

区分	回答者数 (件)	リスク 該当者	暮らし リスク	運動 リスク	栄養 リスク	口腔 リスク	外出 リスク	物忘れ リスク	こころ リスク
【市全体】 一戸建て	1,285	43.7	0.8	1.5	1.4	13.9	3.4	33.7	18.1
集合住宅	295	52.9	4.1	3.4	3.4	18.6	6.1	40.3	27.8
【70 歳】 一戸建て	1,155	42.9	0.7	1.5	1.5	13.9	3.4	32.7	18.0
集合住宅	244	52.0	2.9	2.5	3.3	18.0	5.3	39.8	25.4
【71～74 歳】 一戸建て	130	51.5	1.5	1.5	0.8	13.8	3.8	42.3	19.2
集合住宅	51	56.9	9.8	7.8	3.9	21.6	9.8	43.1	39.2

リスク該当者の出現率を日常生活圏域別にみると、第11圏域が55.8%と高くなっています。

リスク該当者、7種類のリスク別出現率（日常生活圏域別）

単位：%

区分	回答者数 (件)	リスク該当者	暮らしリスク	運動リスク	栄養リスク	口腔リスク	外出リスク	物忘れリスク	こころリスク
市全体	1656	45.3	1.4	1.8	1.7	14.4	3.7	34.7	20.1
第1圏域	163	41.1	0.6	0.6	0.6	14.7	1.8	32.5	18.4
第2圏域	149	45.6	2.0	2.7	0.0	15.4	3.4	36.2	23.5
第3圏域	129	50.4	1.6	1.6	2.3	15.5	7.8	40.3	19.4
第4圏域	127	45.7	0.0	2.4	2.4	12.6	3.9	33.1	16.5
第5圏域	95	46.3	1.1	1.1	1.1	14.7	3.2	41.1	17.9
第6圏域	116	43.1	0.9	1.7	0.9	15.5	6.0	27.6	26.7
第7圏域	99	44.4	1.0	2.0	2.0	18.2	3.0	32.3	19.2
第8圏域	191	41.9	1.6	3.1	2.6	13.1	3.7	30.9	17.8
第9圏域	125	43.2	1.6	1.6	0.8	16.8	3.2	36.0	15.2
第10圏域	189	40.7	3.2	2.1	4.2	10.6	2.6	32.3	15.3
第11圏域	147	55.8	2.0	1.4	1.4	12.9	3.4	39.5	29.9
第12圏域	126	48.4	0.0	0.8	0.8	15.9	4.0	38.1	23.0

5 調査結果の総括

(1) 調査結果の総括の視点

健康な状態から要支援・要介護状態となるまでの過程で「フレイル」状態（加齢により体力や気力が弱まっている状態）となり、要支援・要介護状態へと悪化していくとされています。フレイルの一つ目は、運動器の障害で身体機能が低下したり、筋肉が衰えることによる「身体的フレイル」、二つ目は、定年退職やパートナーを失ったりすることによるうつ状態や軽度の認知症の状態による「精神・心理的フレイル」、三つ目は、加齢に伴って社会とのつながりが希薄化することで生じる独居や経済的困窮による「社会的フレイル」の3つのフレイルが連鎖することで自立度の低下が急速に進むとされています。

また、フレイルには「可逆性」という特性もあり、自身の状態と向き合い、予防に取り組むことで進行を緩やかにし、健康に過ごせていた状態に戻すことが可能です。

フレイル予防で掲げている柱は3つあり、「栄養」「身体活動（運動）」「社会参加」の三位一体の取り組みによるフレイル予防が必要とされています。

調査結果の総括では、「栄養」「身体活動（運動）」「社会参加」のフレイル予防に影響が及ぶ調査項目を中心に総括をしていきます。

また、市内の12か所の日常生活圏域ごとに設置している地域包括支援センターと圏域別に市民の身体機能の状況を情報共有し、地域に密着した事業展開による介護予防事業へとつなげるための基礎データとして活用することから、圏域別の特徴などを明らかにしていくものです。

(2) リスク該当者の総括

リスク該当者の状況を年齢階級別で見ると、市全体で70歳が44.3%、71歳から74歳が52.6%と8.3ポイント高くなっており、70歳を超えて74歳までの期間で加齢に伴いリスク該当者が増加しています。

リスクの種類では、70歳で物忘れリスクが33.8%、次いでこころのリスクが19.5%、口腔リスクが14.3%と他のリスクに比べ高くなっており、71歳から74歳では物忘れリスクが41.8%と70歳に比べ8.0ポイント高くなり、次いでこころのリスクが24.5%と70歳に比べ5.0ポイント高くなり、口腔リスクが14.8%と70歳に比べ0.5ポイント高くなっており、物忘れリスクが他のリスクに比べ71歳から74歳で高くなっています。

物忘れリスクについては、本人の自覚や家族の認識など認知症に対する意識の問題により、認知症予防事業へとつながりづらい可能性もあることを踏まえ、取り組んでいく必要があります。

家族構成別については、市全体でひとり暮らし世帯が「こころリスク」の割合が27.2%と高齢者のみ世帯の18.0%に比べ9.2ポイント高くなり、その他世帯の19.3%に比べ7.9ポイント高くなっています。

BMI別については、市全体で「やせ（BMI 18.5未満）」で物忘れリスク以外のリスクで「標準」「肥満」に比べ割合が高くなっており、低栄養などにより、運動や社会参加など生活全般に対してリスクが高くなっています。

圏域別については、リスク該当者の割合が最も高い圏域が第11圏域で55.8%となっており、次いで第3圏域の50.4%、第12圏域の48.4%となっています。

リスク種類別で最も高い圏域が、暮らしリスクが第10圏域で3.2%、運動リスクが第8圏域で3.1%、栄養リスクで第10圏域4.2%、口腔リスクで第7圏域が18.2%、外出リスクが第3圏域

で7.8%、物忘れリスクで第5圏域が41.1%、こころリスクが第11圏域で29.9%となっています。

リスク該当者の割合が最も高い圏域では、複数のリスクが高い状態にあることから、1つのリスクが他のリスクに影響していることが考えられます。

(3) フレイル予防における栄養リスクの総括

フレイル予防における3つの柱のうち、「栄養」については、まず、BMI別のリスク種類別の該当者の割合を見ると、市全体では、「やせ」のリスク該当者が55.4%と「標準」に比べ11.6ポイント高く、「肥満」に比べ9.1ポイント高くなっています。

また、市全体で「やせ」のリスク該当者は、「肥満」の物忘れリスクを除き、すべての種類のリスク該当者の割合が高くなっており、こころリスクが26.2%、口腔リスクが19.2%、外出リスクが8.5%、暮らしのリスクが6.9%と「標準」「肥満」に比べ割合が高くなっています。

(4) フレイル予防における身体活動（運動）の総括

フレイル予防のうち身体活動（運動）については、2-問5で「散歩で外出をする頻度はどれくらいですか」の設問に対して市全体で「週1回」「週1回未満」を合わせた割合が42.9%となっており、昨年に比べ外出の回数が減っている理由については、「新型コロナウイルス感染拡大」の割合が73.9%と最も高く、次いで「足腰などの痛み」25.5%、その他が13.1%となっています。

(5) フレイル予防における社会参加の総括

地域での活動について市全体で「年に数回以上参加」の割合が、老人会、老人クラブへの参加が最も高く93.2%、次いで学習・教養関係の団体やサークルの割合が89.5%、ボランティア団体や市民活動団体・NPOの割合が85.7%となっています。

6 基本チェックリスト（25項目）の回答結果

基本チェックリスト25項目のうちでリスク側に回答した方の結果を、「暮らし」「運動」「栄養」「口腔」「外出」「物忘れ」「こころ」のリスク分類別にみています。

※設問文については、リスク側の表現に言い換えています。

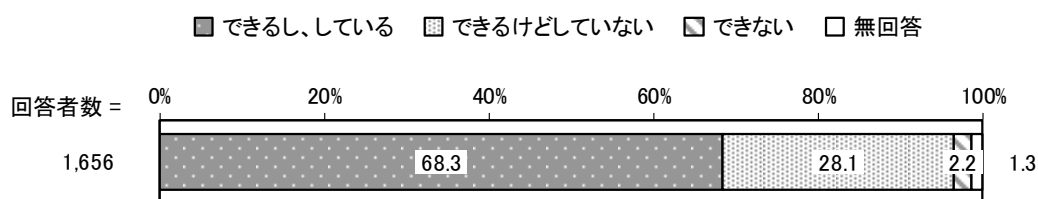
暮らしの回答結果

「暮らしリスク」は、下記5項目の回答結果と運動の回答結果（5項目）、栄養の回答結果（2項目）、口腔の回答結果（3項目）、外出の回答結果（2項目）、物忘れの回答結果（3項目）の20項目の回答結果から判定しています。

暮らしに関する「バスや電車で一人で外出できない」「日用品の買い物ができない」「預貯金の出し入れができない」「友人の家を訪ねていない」「家族や友人の相談にのっていない」では、5項目全てで女性に比べ、男性の方が高くなっています。特に「友人の家を訪ねていない」男性は、他の項目と比べて高くなっています。

暮らしの回答結果（性別・家族構成別・年齢階級別）

6-問1）バスや電車で一人で外出できない

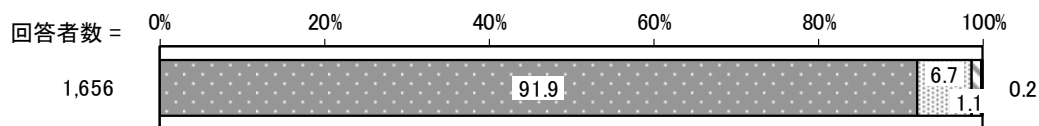


単位：%

区分	全体	【男性】				【女性】			
		全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他	全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他
【市全体】	2.2	2.6	1.9	2.0	2.6	1.9	2.0	1.8	2.1
【70歳】	2.0	2.0	0.0	1.7	2.1	2.0	1.6	2.0	2.3
【71～74歳】	4.1	7.4	11.1	4.5	6.7	1.0	3.6	0.0	0.0

6-問2) 日用品の買い物ができない

■ できるし、している ■ できるけどしていない ■ できない □ 無回答

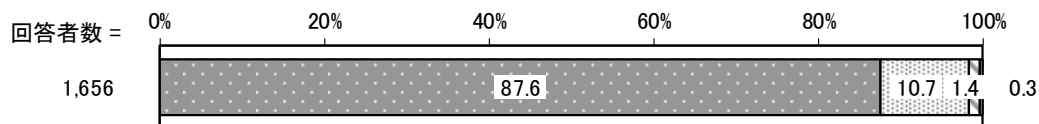


単位：%

区分	全体	【男性】				【女性】			
		全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他	全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他
【市全体】	1.1	1.5	0.0	0.7	3.0	0.8	0.0	1.0	1.0
【70歳】	1.2	1.4	0.0	0.8	2.6	0.9	0.0	1.1	1.2
【71～74歳】	1.0	2.1	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0

6-問5) 預貯金の出し入れができない

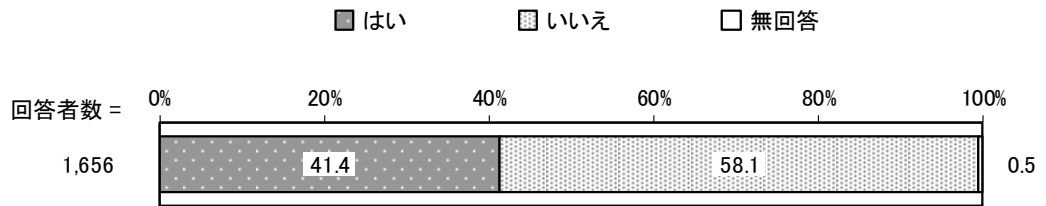
■ できるし、している ■ できるけどしていない ■ できない □ 無回答



単位：%

区分	全体	【男性】				【女性】			
		全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他	全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他
【市全体】	1.4	2.4	0.9	2.0	3.8	0.6	0.0	0.8	0.7
【70歳】	1.3	2.1	0.0	1.9	3.4	0.5	0.0	0.9	0.4
【71～74歳】	2.6	4.2	5.6	2.3	6.7	1.0	0.0	0.0	3.1

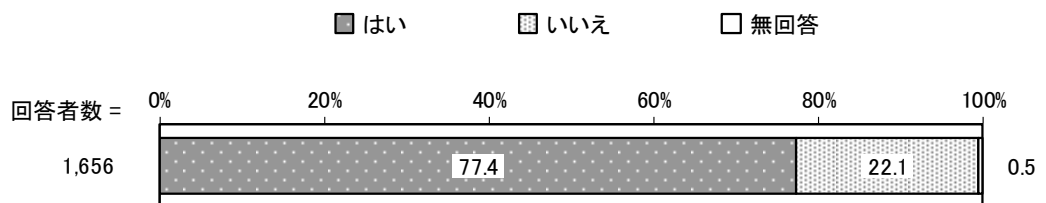
6-問 11) 友人の家を訪ねていない



単位：%

区分	全体	【男性】				【女性】			
		全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他	全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他
【市全体】	58.1	65.0	66.4	65.8	64.2	51.6	48.7	55.8	47.1
【70歳】	58.4	65.1	67.4	66.0	64.3	52.2	49.2	55.1	49.0
【71～74歳】	55.6	64.2	61.1	63.6	63.3	47.5	46.4	61.5	31.3

6-問 12) 家族や友人の相談にのっていない



単位：%

区分	全体	【男性】				【女性】			
		全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他	全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他
【市全体】	22.1	28.9	48.6	25.1	26.8	15.7	23.3	14.3	13.8
【70歳】	20.9	27.0	46.1	24.0	24.3	15.1	19.7	13.9	15.2
【71～74歳】	31.1	43.2	61.1	34.1	46.7	19.8	39.3	17.9	3.1

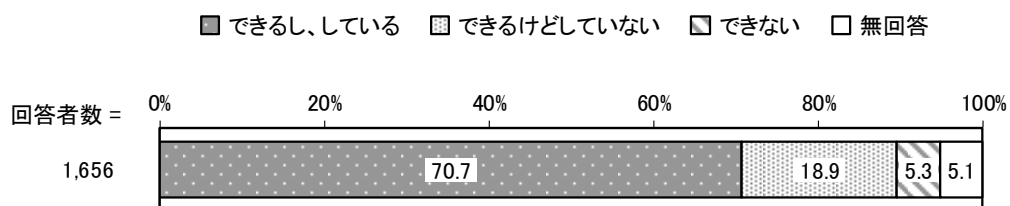
運動の回答結果

「運動リスク」をみると、男性は全体的に女性よりやや低いものの、「この1年間に転んだことがある」の市全体の割合では女性を上回っています。

女性では、70歳のひとり暮らし世帯で、「転倒に対する不安が大きい」の割合が特に高くなっています。

運動の回答結果（性別・家族構成別・年齢階級別）

2-問1) 階段昇降時に手すりや支えが必要

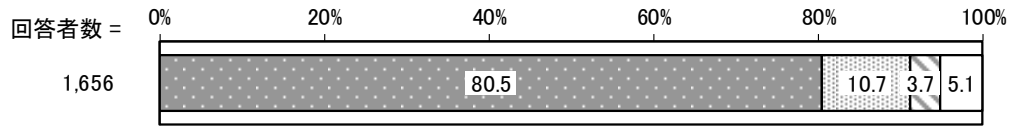


単位：%

区分	全体	【男性】				【女性】			
		全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他	全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他
【市全体】	5.3	4.0	7.5	2.5	4.2	6.6	8.7	5.9	6.2
【70歳】	4.9	3.3	4.5	1.9	3.8	6.5	9.0	5.7	6.6
【71～74歳】	8.2	9.5	22.2	6.8	6.7	6.9	7.1	7.7	3.1

2-問2) 椅子からの立ち上がりに支えが必要

■ できるし、している □ できるけどしていない ▨ できない □ 無回答

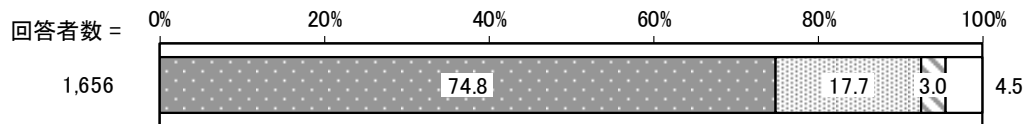


単位：%

区分	全体	【男性】				【女性】			
		全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他	全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他
【市全体】	3.7	3.1	2.8	3.0	3.0	4.2	5.3	3.1	5.2
【70歳】	3.5	2.7	1.1	2.8	3.0	4.2	5.7	2.6	5.8
【71~74歳】	5.1	6.3	11.1	4.5	3.3	4.0	3.6	7.7	0.0

2-問3) 15分位続けて歩行していない

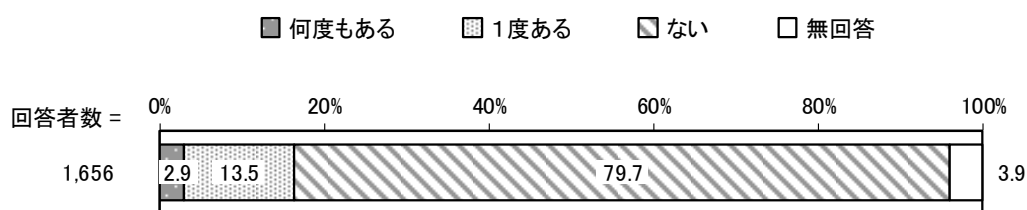
■ できるし、している □ できるけどしていない ▨ できない □ 無回答



単位：%

区分	全体	【男性】				【女性】			
		全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他	全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他
【市全体】	3.0	2.4	1.9	1.7	3.4	3.5	4.0	3.1	3.8
【70歳】	2.8	2.1	1.1	1.7	3.0	3.5	4.1	2.8	3.9
【71~74歳】	4.1	4.2	5.6	2.3	6.7	4.0	3.6	5.1	3.1

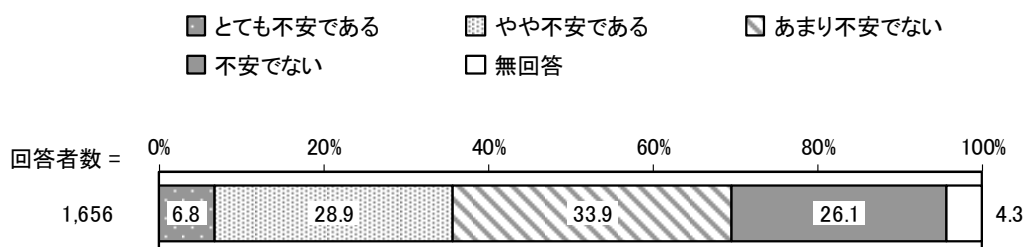
3-問1) この1年間に転んだことがある



単位：%

区分	全体	【男性】				【女性】			
		全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他	全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他
【市全体】	2.9	3.7	5.6	4.5	2.3	2.1	3.3	1.5	2.1
【70歳】	2.4	3.1	1.1	4.2	2.6	1.7	4.1	1.1	1.6
【71～74歳】	6.6	8.4	27.8	6.8	0.0	5.0	0.0	5.1	6.3

3-問2) 転倒に対する不安が大きい



単位：%

区分	全体	【男性】				【女性】			
		全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他	全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他
【市全体】	6.8	4.6	6.5	3.5	5.7	8.8	14.7	7.4	7.6
【70歳】	6.4	4.0	4.5	3.1	5.1	8.6	15.6	7.4	7.4
【71～74歳】	9.7	9.5	16.7	6.8	10.0	9.9	10.7	7.7	9.4

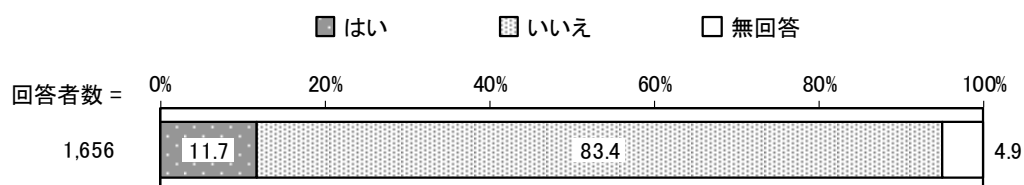
栄養の回答結果

「栄養リスク」については、「6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少があった」は、70歳の男性のひとり暮らし世帯で高くなっています。

BMIが18.5未満（やせている）の割合をみると、全ての世帯で女性が男性を上回っています。

栄養の回答結果（性別・家族構成別・年齢階級別）

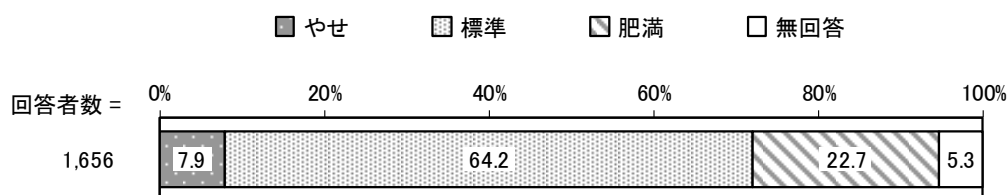
4-問1) 6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少があった



単位：%

区分	全体	【男性】				【女性】			
		全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他	全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他
【市全体】	11.7	12.5	21.5	11.9	8.7	11.0	13.3	9.5	11.8
【70歳】	12.2	13.0	23.6	12.0	9.8	11.4	13.1	10.2	12.5
【71～74歳】	8.2	8.4	11.1	11.4	0.0	7.9	14.3	2.6	6.3

4-問2) やせている (BMI < 18.5)



単位：%

区分	全体	【男性】				【女性】			
		全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他	全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他
【市全体】	7.9	5.0	7.5	4.2	5.7	10.5	9.3	9.7	12.8
【70歳】	7.8	5.0	7.9	4.5	5.1	10.5	9.0	10.2	12.1
【71～74歳】	8.2	5.3	5.6	2.3	10.0	10.9	10.7	5.1	18.8

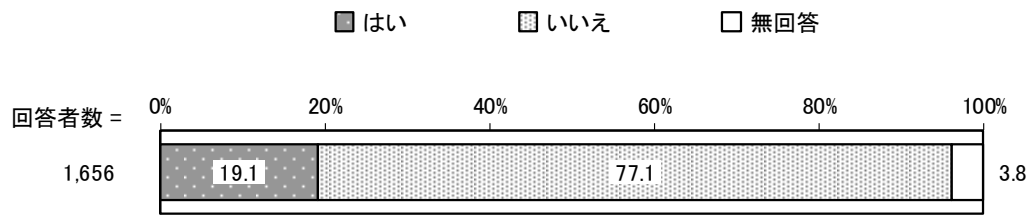
口腔の回答結果

「口腔リスク」については、「半年前と比べて固いものが食べにくくなった」割合を市全体で見ると、男女ともにひとり暮らし世帯が高くなっています。

「半年前と比べて固いものが食べにくくなった」で、71～74歳の女性の高齢者のみ世帯で割合が高くなっています。

口腔の回答結果（性別・家族構成別・年齢階級別）

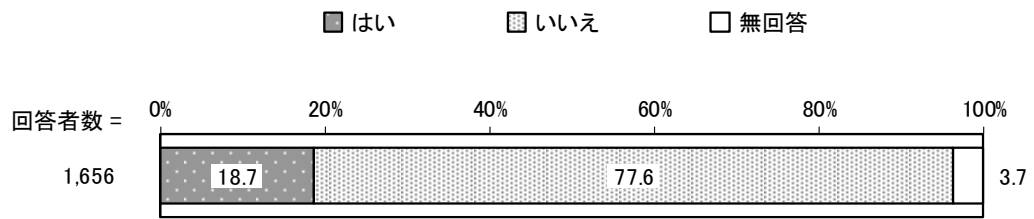
4-問3) 半年前と比べて固いものが食べにくくなった



単位：%

区分	全体	【男性】				【女性】			
		全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他	全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他
【市全体】	19.1	19.5	23.4	17.4	20.8	18.9	24.0	18.4	16.6
【70歳】	18.7	19.2	22.5	17.0	21.7	18.2	23.0	17.0	17.5
【71～74歳】	22.4	21.1	27.8	20.5	13.3	23.8	28.6	30.8	9.4

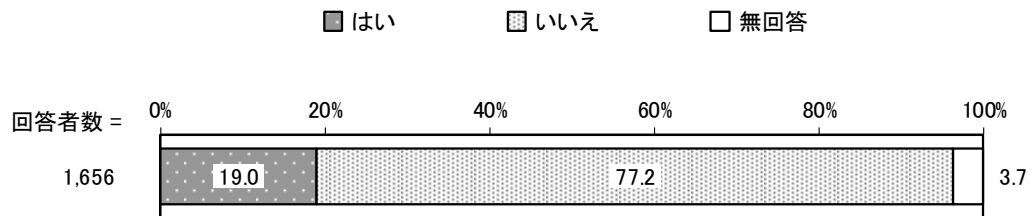
4-問4) お茶や汁物等でむせることがある



単位：%

区分	全体	【男性】				【女性】			
		全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他	全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他
【市全体】	18.7	18.1	19.6	18.9	16.6	19.2	22.0	19.7	17.3
【70歳】	18.7	18.7	20.2	19.5	17.4	18.7	21.3	19.3	17.1
【71～74歳】	18.4	13.7	16.7	13.6	10.0	22.8	25.0	23.1	18.8

4-問5) 口の渇きが気になる



単位：%

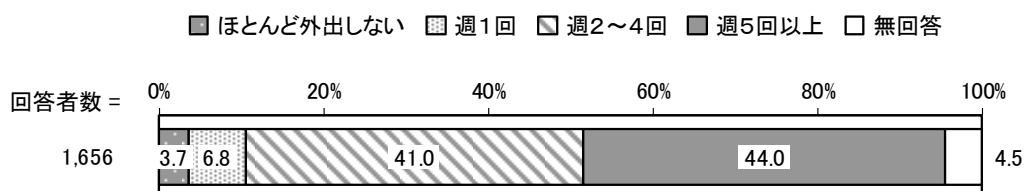
区分	全体	【男性】				【女性】			
		全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他	全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他
【市全体】	19.0	18.1	21.5	18.4	16.2	19.9	24.7	18.2	20.4
【70歳】	19.5	18.8	23.6	18.7	17.9	20.2	25.4	18.2	21.0
【71～74歳】	15.3	12.6	11.1	15.9	3.3	17.8	21.4	17.9	15.6

外出の回答結果

「外出リスク」については、「昨年と比べて外出回数が減った」割合をみると、女性のひとり暮らし世帯の割合が高くなっています。

外出の回答結果（性別・家族構成別・年齢階級別）

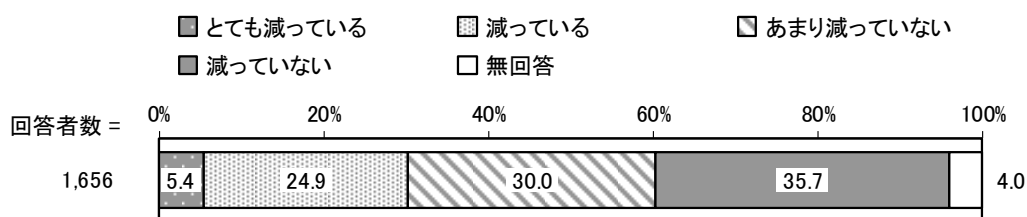
2-問4) 週に1回以上外出していない



単位：%

区分	全体	【男性】				【女性】			
		全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他	全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他
【市全体】	3.7	4.5	3.7	4.0	5.7	3.0	2.0	2.8	3.8
【70歳】	3.6	4.1	3.4	3.6	5.1	3.1	1.6	2.8	4.3
【71~74歳】	5.1	7.4	5.6	6.8	10.0	3.0	3.6	2.6	0.0

2-問6) 昨年と比べて外出回数が減った



単位：%

区分	全体	【男性】				【女性】			
		全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他	全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他
【市全体】	30.3	23.6	29.9	22.1	23.0	36.7	44.0	37.6	32.2
【70歳】	30.0	23.6	30.4	21.7	23.8	36.0	40.2	37.2	33.5
【71~74歳】	32.7	23.2	27.8	25.0	16.6	41.6	60.7	41.0	21.9

物忘れの回答結果

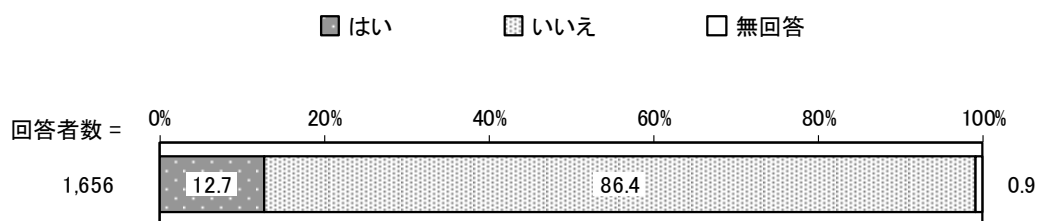
「物忘れリスク」について、「いつも同じことを聞く」などの物忘れを指摘される割合は、市全体で、女性に比べ、男性で全ての項目の割合が高くなっています。

「自分で電話番号を調べて電話をかけていない」割合は、70歳では男性のひとり暮らし世帯が、71～74歳では男性のその他世帯が高くなっています。

「今日が何月何日かわからない時がある」割合は、70歳では男女ともにひとり暮らし世帯が、71～74歳では男女とも高齢者のみ世帯が高くなっています。

物忘れの回答結果（性別・家族構成別・年齢階級別）

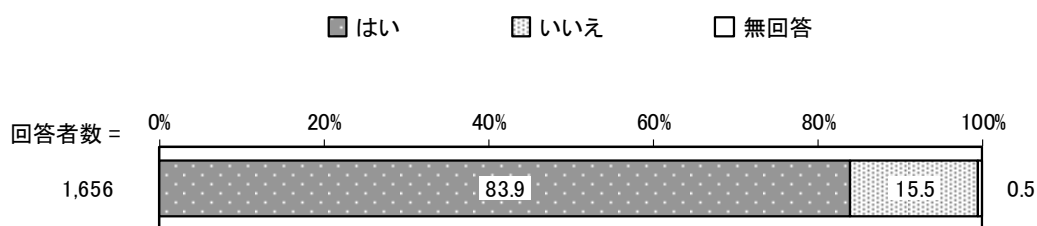
5-問1)「いつも同じことを聞く」などの物忘れを指摘される



単位：%

区分	全体	【男性】				【女性】			
		全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他	全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他
【市全体】	12.7	15.8	15.0	17.9	12.1	9.8	7.3	9.2	11.8
【70歳】	11.9	15.1	13.5	17.8	11.1	8.9	5.7	8.5	11.3
【71～74歳】	18.9	21.1	22.2	18.2	20.0	16.8	14.3	15.4	15.6

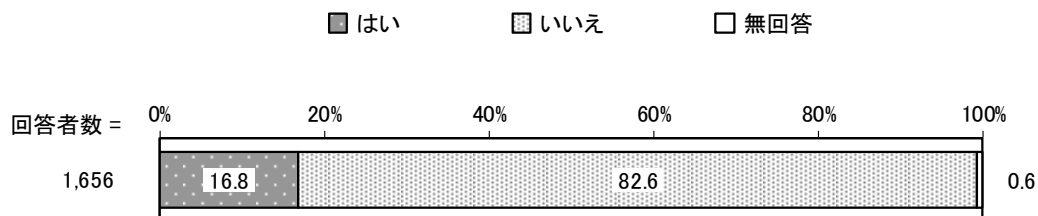
5-問2) 自分で電話番号を調べて電話をかけていない



単位：%

区分	全体	【男性】				【女性】			
		全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他	全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他
【市全体】	15.5	17.5	18.7	16.6	18.1	13.7	17.3	13.0	12.8
【70歳】	15.0	16.7	19.1	16.4	16.2	13.4	18.0	12.8	12.1
【71～74歳】	19.4	23.2	16.7	18.2	33.3	15.8	14.3	15.4	18.8

5-問3) 今日が何月何日かわからない時がある



単位：%

区分	全体	【男性】				【女性】			
		全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他	全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他
【市全体】	16.8	19.7	23.4	20.8	16.6	14.1	16.7	12.5	14.2
【70歳】	16.1	19.1	24.7	19.8	16.2	13.3	16.4	11.4	14.0
【71～74歳】	21.9	24.2	16.7	29.5	20.0	19.8	17.9	23.1	15.6

こころの回答結果

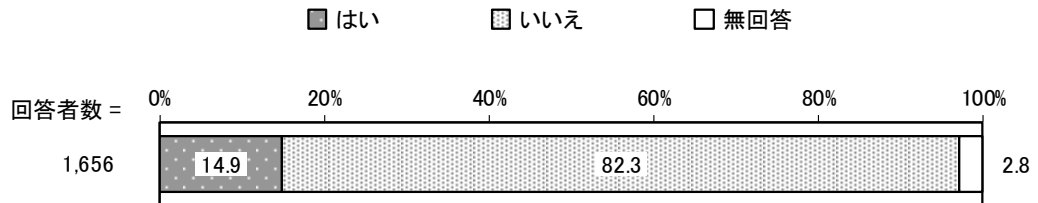
「こころリスク」を市全体でみると、男性は全ての項目でひとり暮らし世帯の割合が高くなっています。

「楽にできていたことが今ではおっくうに感じる」では、71～74歳の女性のひとり暮らし世帯が特に高くなっています。

「自分が役に立つ人間だと思えないことがある」では、71～74歳の男性のひとり暮らし世帯、71～74歳の女性のひとり暮らし世帯が、「わけもなく疲れたような感じがする」では、71～74歳の女性のひとり暮らし世帯が高くなっています。

こころの回答結果（性別・家族構成別・年齢階級別）

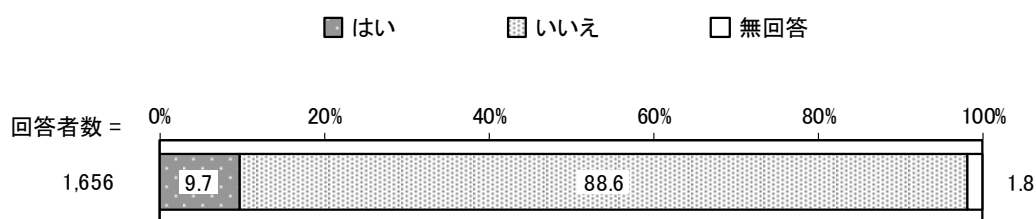
8－問3）毎日の生活に充実感がない



単位：%

区分	全体	【男性】				【女性】			
		全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他	全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他
【市全体】	14.9	15.2	24.3	13.4	13.6	14.5	20.0	13.8	12.5
【70歳】	14.0	14.9	23.6	13.1	13.6	13.3	17.2	12.8	12.1
【71～74歳】	20.9	17.9	27.8	15.9	13.3	23.8	32.1	23.1	15.6

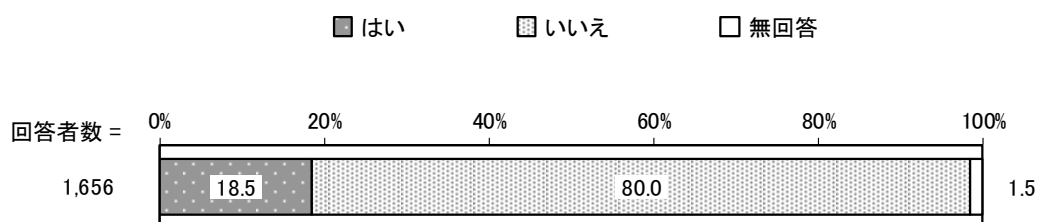
8-問4) 楽しんでやれたことが楽しめなくなった



単位：%

区分	全体	【男性】				【女性】			
		全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他	全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他
【市全体】	9.7	9.2	15.9	8.9	6.4	10.1	14.7	8.4	10.4
【70歳】	9.0	8.8	15.7	8.9	5.5	9.3	13.1	8.0	10.1
【71～74歳】	14.3	12.6	16.7	9.1	13.3	15.8	21.4	12.8	12.5

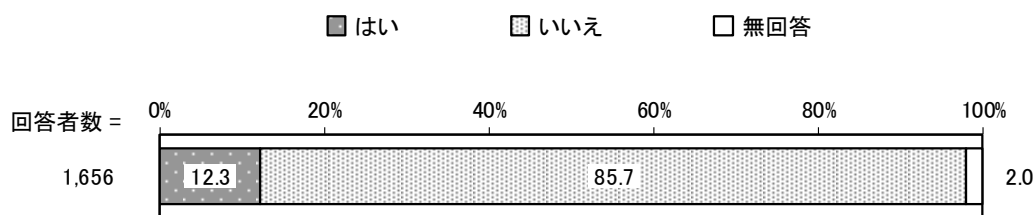
8-問5) 楽にできていたことが今ではおっくうに感じる



単位：%

区分	全体	【男性】				【女性】			
		全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他	全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他
【市全体】	18.5	17.1	25.2	16.9	14.3	19.9	28.0	16.6	20.4
【70歳】	17.4	16.0	24.7	15.6	13.6	18.7	25.4	15.9	20.2
【71～74歳】	27.0	25.3	27.8	27.3	20.0	28.7	39.3	23.1	21.9

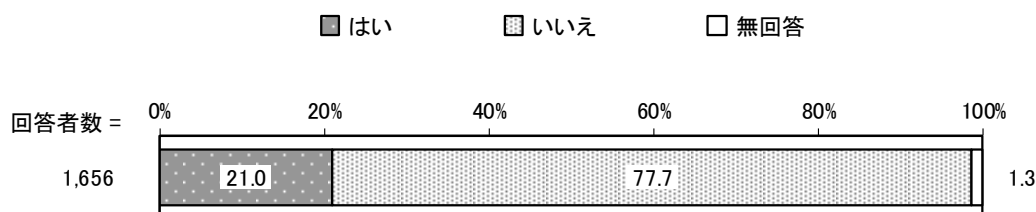
8-問6) 自分が役に立つ人間だと思えないことがある



単位：%

区分	全体	【男性】				【女性】			
		全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他	全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他
【市全体】	12.3	13.6	24.3	11.7	11.3	11.1	18.7	9.5	9.0
【70歳】	11.6	13.0	23.6	10.6	11.9	10.2	16.4	8.8	8.9
【71～74歳】	17.9	17.9	27.8	20.5	6.7	17.8	28.6	15.4	9.4

8-問7) わけもなく疲れたような感じがする



単位：%

区分	全体	【男性】				【女性】			
		全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他	全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他
【市全体】	21.0	19.6	24.3	19.4	17.7	22.4	28.0	20.7	21.5
【70歳】	20.6	19.2	23.6	19.2	17.4	21.9	27.0	20.5	21.8
【71～74歳】	24.0	22.1	27.8	20.5	20.0	25.7	32.1	23.1	18.8

他リスクとの重複割合（70歳）

単位：上段/人 下段/%

項目	暮らし リスク	運動 リスク	栄養 リスク	口腔 リスク	外出 リスク	物忘れ リスク	こころ リスク
暮らしリスク	16 100.0	10 62.5	6 37.5	11 68.8	9 56.3	15 93.8	15 93.8
運動リスク	10 41.7	24 100.0	2 8.3	11 45.8	7 29.2	15 62.5	20 83.3
栄養リスク	6 24.0	2 8.0	25 100.0	9 36.0	5 20.0	11 44.0	12 48.0
口腔リスク	11 5.3	11 5.3	9 4.3	209 100.0	9 4.3	109 52.2	85 40.7
外出リスク	9 17.3	7 13.5	5 9.6	9 17.3	52 100.0	31 59.6	26 50.0
物忘れリスク	15 3.0	15 3.0	11 2.2	109 22.1	31 6.3	493 100.0	153 31.0
こころリスク	15 5.3	20 7.0	12 4.2	85 29.8	26 9.1	153 53.7	285 100.0

他リスクとの重複割合（71～74歳）

単位：上段/人 下段/%

項目	暮らし リスク	運動 リスク	栄養 リスク	口腔 リスク	外出 リスク	物忘れ リスク	こころ リスク
暮らしリスク	7 100.0	4 57.1	0.0 0.0	2 28.6	4 57.1	7 100.0	6 85.7
運動リスク	4 66.7	6 100.0	0.0 0.0	1 16.7	2 33.3	5 83.3	5 83.3
栄養リスク	0.0 0.0	0.0 0.0	3 100.0	0.0 0.0	0.0 0.0	1 33.3	1 33.3
口腔リスク	2 6.9	1 3.4	0.0 0.0	29 100.0	1 3.4	17 58.6	14 48.3
外出リスク	4 40.0	2 20.0	0.0 0.0	1 10.0	10 100.0	9 90.0	6 60.0
物忘れリスク	7 8.5	5 6.1	1 1.2	17 20.7	9 11.0	82 100.0	30 36.6
こころリスク	6 12.5	5 10.4	1 2.1	14 29.2	6 12.5	30 62.5	48 100.0